

池田記念美術館
IKEEDA ART MUSEUM

イケビふれあい通信

常設展示 スポーツ文化展示室・小泉八雲文学資料室

2024 夏号

No.117

◆四半世紀を迎えた八海山夢展

ただいま開催中の八海山夢展では、絵画・書道・写真・水石・工芸の計5部門で96人116点出展しています。魚沼の美しい田園風景や人々を描いた作品が並び、水石部門では水無川と魚野川から採れる八海石を書道部門の作品と一緒に展示しています。魚沼の魅力が詰まった、心が癒される展覧会だと思いますのでぜひご来館ください。

八海山夢展は今年で25回目となりましたが、これも皆様の御支援のおかげです。私は3回目から関わってきましたが、当初から比べると出展者数が増え、南魚沼市以外からの出展も増加しました。開始当初は大和町の時代で、合併で南魚沼市になり、コロナ禍の2020年の第21回展では、通常の7月には開催できず、9月に延期して開催しました。展覧会やイベントの中止が相次いでいた時期だったので、不安もありましたが、終わってみれば例年以上の来館者があり安堵したのもいい思い出です。様々苦勞もありましたが、夢展も時代に合わせて変化してきました。これからも皆様に愛される夢展であって欲しいと思います。

八海山夢展は8月31日まで開催中です。
(広田かおり)

◆新規の文化講座はタロット占いの

うつつうしい梅雨も明け、暑い夏がやってきました。美術館がある八色地域では特産の八色スイカが最盛期を迎えています。一面の



スイカ畑を見ると魚沼の夏を感じます。エントランスホールには地元農家さんが生産した15kgもある大きなスイカが飾られています。さて、7月から第2クールに突入した美文字講座、エアロヨガ講座ですが、どちらの講座も毎回たくさんの方からご参加いただいております。誠にありがとうございます。そして、この夏からもう一つ新しい文化講座『タロット占い講座』を開講します。「八海山の近くに住みたい」という思いから南魚沼に移住したご夫婦で、夫の義貴さんが足つぽ・もみほぐしを、占いを妻の香おりさんが営む『和快(わかい)』さん。奥様の香おりさんを講師にお迎えし、未来を予測するだけの占いではなく、毎日をより良く過ごすために「感じて」「行動する」タロットカードの使い方を教えていただきます。占う目的だけでなく、まずは自分のためにタロットを使えるよ



八海山麓スキー場グレンデに設置された風ぐるまと赤坊主

うになることを目指します。魅力あふれるタロット占いの世界を楽しく体験してみませんか？ 開催は8月から3か月間、第4水曜日の午後2時〜になります。1回だけのご参加でも大丈夫です。お気軽にお問い合わせ、お申し込みください。皆様からのご参加、お待ちしております。(山口加奈子)

◆この夏も大忙しです

梅雨明け前の7月27日、八海山麓スキー場のグレンデに風ぐるま約3000本を設置しました。今年で4回目となり、地元の子どもたちから大人の方々まで、多くのおみなさんのボランティアで実現できました。今回は、カラフルな色の風ぐるままでグレンデを海原に見立て、その上に虹が浮かび、さらに金色の太陽がひかり輝くデザインになっています。刈

タロット占い講座 受講生募集

- 【日程】8月28日・9月25日・10月23日(各水曜)
- 【時間】14時〜15時30分 【定員】各回10名
- 【会場】池田記念美術館
- 【参加費】3000円

(1回だけの参加も可能です。1回1000円)
【持ち物】筆記用具【申込先】池田記念美術館へ

芸術の直観

97 Sat. 1027 Sun.

「他者」を存在させる

八色の森の美術展 子ども絵画展

南魚沼市 池田記念美術館

現代美術の作家40人と子どもたちの作品を共同展示

他に見えない注目のコラボレーション!

第8回 八色の森の美術展+子ども絵画展

「芸術の直観」(他者)を存在させるために!

【会期】9月7日(土)〜10月27日(日)

八色の森の美術展ポスター

り残した草むらには「赤坊主」がひとときわ目立っています。制作者・たかはし藤水さんのコメントは「緑の海原に出現した海坊主ならぬ真つ赤な頭の赤坊主は、人を襲ったりしません。子どもたちと遊びたくて頭を出しているのです」。夜間はソーラーライトが発光するので、グレンデは幻想的で不思議な感じがします。また、ターミナル前には玉川勝之さんの「顔嵌め自販機「七色西瓜」」も展示しました。ちよつと笑える作品です。

風ぐるまはお盆過ぎの18日まで鑑賞できます。それが終わると、次は「八色の森の美術展」の準備です。2017年に開始以来、8回目の開催となります。「八色」との語呂合わせでもないのですが、当初の予定通り、今年で第1期を終了します。来年度からはこれまでの8年間を総括したうえで、新しい形で現代美術の紹介と子どもたちや地域との連携活動を継続します。出前授業や鑑賞型哲学対話など、これまで培ってきた成果をさらにレベルアップさせ、美術館を媒介にした地域づくりに貢献したいと思います。(高橋良一)

《池田記念美術館一展覧会・イベント情報》

■第8回 八色の森の美術展+子ども絵画展 2024

◎会期：9月7日(土)～10月27日(日)

国内外で活躍する現代美術の作家40人の作品と、出前授業で子どもたちが制作した作品約100点を共同展示する美術展です。今回で8年連続の開催となり、「秋はイケビで現代アート!」「秋はイケビでジュニア展!」として、芸術の力で地域づくりに貢献しています。プロの作品と子どもたちの作品を美術館に対等に展示し、相互に批評することによって、子どもたちの芸術への興味・関心・向上心を高めたいと考えます。会期中、基調講演や文化講座を開催し、また、鑑賞型哲学対話やワークショップを実施するなど地域と連携した注目の美術展。当初の予定通り、今回が第I期のファイナル展となります。

■作品解説会 解説：出品作家

9月7日(土) 13:30～15:00

■基調講演「絵画の無何有郷(むこうきょう)」 講師：谷川 渥(美学者・美術評論家)

9月7日(土) 15:15～16:45

■オープニングティーパーティー 出品作家との歓談会。ドリンクなど用意します。

9月7日(土) 17:00～18:30 参加費：300円(高校生以下無料)

■ワークショップ「誰かとつながる不思議な実をつくろう!」 講師：佐藤未来(出品作家)

今年の出前授業で実施する造形活動を実体験するワークショップです。募集：園児～大人

9月8日(日) 13:30～16:00 参加費：入館料500円(高校生以下無料) ※要予約

■ワークショップ「鑑賞型哲学対話」 講師：河野哲也(立教大学教授)ほか

展示作品を鑑賞しながら哲学対話を実践。出品作家も参加します。募集：園児～大人

10月25日(金)～26日(土) 参加費：入館料500円(高校生以下無料) ※要予約

※時間など詳細は美術館までお問い合わせください。

■文化講座「絵画のリアリティ」 講師：山梨俊夫(美術史家・元国立国際美術館館長)

10月27日(日) 11:00～12:30

■車座シンポジウム「八色の森の美術展を振り返って」 参加者：出品作家・哲学対話関係者・ほか

8年間の美術展を総括して成果と展望を議論します。

10月27日(日) 13:30～15:30

八色の森の美術展応援ライブ 開催決定!

出演：shiro(宮原芽映、丹波博幸)

日時：9月21日(土) 17時30分開演(開場17時)

会場：池田記念美術館エントランスホール

参加費：1,000円(会期中何度でも入館可能な特別パスポート付き)

要予約。詳細は美術館まで。紹介パンフレットの用意あり。

■8月、9月、10月の休館日

【8月】

7日、14日、21日、28日 定休日

【9月】

1日～6日 展示替え休館日

11日、18日、25日 定休日

【10月】

2日、9日、16日、23日 定休日

28日～11月1日 展示替え休館日

《次回の展覧会》

■高校生がキュレーションする美術展

◎会期：11月2日(土)～12月15日(日)

地域と連携して活動する美術館構想のもと、昨年8月22日からスタートした企画です。高校生が主役となって、内容、名称、宣伝、展示など美術展開催にあたっての全ての課題を、1年間にわたって対話や議論を通して決定・実践するという前例のない美術展となります。

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00(入館受付は16:30まで)

【休館日】毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料(団体割引、各種割引あります)

【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>

公園の中の美術館

池田記念美術館



アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分

関越自動車道大和スマートICより車3分

六日町ICより車15分、小出ICより車10分